



ふれあい 放水路

1998
(平成10年)
第49号
4月



この橋は市道本郷新宮線に架かる小さな橋ですが、ダンプトラックの往来が多く、今まで車のすれ違いが困難でした。新しい橋は幅が約二倍になり、スムーズに通行できるようになっています。橋の高欄には地元のシンボルでもある「放れ山古墳」と「桜」が描かれています。

また、これまでは「山崎上橋」と呼ばれていましたが、地元の方の希望により、橋の架け替えとともに名称も「新宮橋」と変わりました。

三月二十六日には古志治水対策協議会、古志地区土木委員会の主催による開通式が行われ、テープカットの後、神官を先頭に古志町の伊藤俊夫さん方三世代夫婦をはじめ、地元のみなさんによる渡り初めをし、橋の開通を祝いました。

出雲市古志町にある放れ山古墳頂上の桜の開花とともに、そのすぐ下を流れる神戸川の支川新宮川に架かる「新宮橋」が開通しました。放水路事業に伴い改築される二十五橋のうち、一番目に完成した橋です。

新宮橋開通

現在、工事はここまで進んでいます

平成9年度の放水路工事報告

平成9年度の放水路工事は、地域の皆様のご協力により、ほぼ予定通り進みました。

放水路工事で2番目となる新宮橋が完成し、新内藤川水門・崎屋橋・古志橋などの大型構造物も計画通り完成に近づいています。本格的な築堤工事にも着手し、準備工事である工事用道路、残土処理場の整備も順調に進んでいます。

今月は今までの工事の進捗状況を紹介します。

新内藤川水門



水門の本体、ゲート、管理橋の工事が完了しました。周辺の付属工事が終われば新内藤川水門の完成です。

堤脚水路



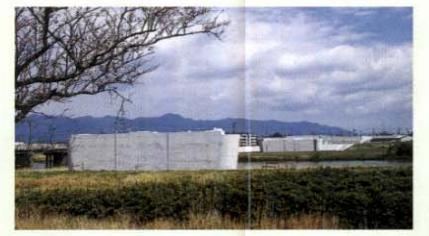
崎屋地区などでは築堤に先立ち、堤脚水路の工事を進めています。

崎屋橋



橋脚2基、橋台1基、ポックスカルバート1基を施工しています。

古志橋



橋脚2基、橋台1基を施工しました。現在、古志橋のシンボルとなる中央径間の上部工事（アーチ部分）を工場で製作しています。

B谷（狐廻谷）残土処理場



防災調整池、工事用道路が完成し、残土処理場の準備工事がほぼ完了しました。

A谷（蟹谷）道路工事



掘削した土をA谷の残土処理場へ運搬するための工事用道路を施工しています。

堤防



下長浜地区において放水路初の本格的な堤防工事に着手しています。

軟弱地盤対策



堤防を造ることにより周辺の地盤が沈下しないようにするための軟弱地盤対策を行っています。

新宮橋(旧山崎上橋)



幅が狭く、大型車両の交通量が多い市道新宮本郷線の橋「新宮橋」が完成しました。高欄には近くの放れ山古墳とその頂上にある桜がデザインされています。

朝山道路

国道184号の付替工事に着手しています。

凡例

水 路
路
(小段道路、工事用道路など)

軟弱地盤対策

築 堤

構 造 物
(橋梁、ポックスカルバートなど)

防 災 調 整 池

掘 削



送り先

〒六九三一〇〇一三
出雲市塩治有原町五一
建設省出雲工事事務所
（0853）21-1850
占用調整課

いざれも学校名、学年、氏名、住所を明記し、
氏名には必ずフリガナを付けて下さい。応募作品
の中から中国地方建設局長賞、出雲工事事務所長
賞を選考し、表彰します。たくさんのご応募お待
ちしています。



「B谷の土でつくつた湯呑みと皿プレゼント」には多数のご応募をいただきありがとうございました。抽選の結果、簸川郡斐川町の曾田直美さんをはじめ五十名の方にお送りしました。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693-0023 出雲市塙治有原町5丁目1番地

本誌に関するご意見やご要望などございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室建設専門官

河川に関する 応募要項

河川愛護に関する 作文・ポスター募集

河川愛護に関する 作文・ポスター募集



放水路工事室のメンバーがかわりました

四月一日付けで出雲工事事務所を離任しました。在任中は皆様方にご理解とご協力を頂きました。ありがとうございました。

四月からの新メンバーです

放水路工事が順調に進むよう頑張りますので、よろしくお願いします。

工事室長
筒井 一昭

建設監督官
加藤 弘行

工務第三係長
藤井 純

**工事室長
鬼武義英**

建設監督官
富田 道秋

工務第三係長
溝山 勇

斐伊川放水路の工事実施状況



(平成10年3月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 上塩冶掘削工事	国土総合建設(株)	自 H10年3月26日 至 H10年11月30日
斐伊川放水路 新内藤川護岸工事	出雲土建(株)	自 H10年3月31日 至 H10年10月30日